

教科(科目)	家庭 (学校設定科目 伝統工芸)	実施学年 (履修規定)	第3学年 必修
単位数	2単位	教科書	なし
		副教材	参考用資料配布
科目の目標	徳島県及び各地に伝わる伝統工芸のデザインについての知識や技術を習得させ、藍染め作品や陶芸作品の制作を通して作る喜びや創造性を養うとともにそれらを生活の中に活用する能力を育てる。		
目標達成に向けての取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>徳島県の伝統工芸である藍染めの実習をすることにより、伝統の中に息づく美や機能的なデザインに気づき、自分で物を作ることの豊かさを感じて習得させる。</li> <li>さらに藍染め以外の伝統工芸の体験を通して学び、生活や心を豊かにさせるデザインの在り方を習得させる。</li> </ul>		

◇ 進捗

月	単元	学習内容・項目・活動等	評価方法・項目等	評価の規準等
4	生活の中の伝統工芸 藍染め	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸とは</li> <li>「阿波藍」の歴史について</li> <li>藍がめの管理について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸に興味・関心を持ち、郷土の伝統工芸の歴史やうめしさを理解できている。</li> </ul>
5		<ul style="list-style-type: none"> <li>藍建て実習</li> <li>クッションのデザインと染色</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>実習態度</li> <li>デザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藍がめの管理をとおして、藍建ての科学が理解できている。</li> </ul>
6		<ul style="list-style-type: none"> <li>デザイン画の制作</li> <li>絞りの実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>藍建ての実習に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
7		<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品提出</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品について評価ができ、次の作品制作に反映しようとする積極性が涵養できている。</li> </ul>
期末考査 (藍建ての科学と絞りの) 技法)				
9	藍染め	<ul style="list-style-type: none"> <li>藍建て実習と藍がめ管理</li> <li>Tシャツのデザインと絞りの実習</li> <li>Tシャツのデザイン画の制作</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>デザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>藍がめの管理により藍の調整法の基礎が理解できる。</li> </ul>
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>絞りの実習</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>個性的で独創的なデザインができている。</li> </ul>
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の整理</li> <li>テーブルクロス制作</li> <li>デザイン画の制作</li> <li>絞りの実習</li> <li>藍染め実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品提出</li> <li>自己評価</li> <li>実習態度</li> <li>デザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーブルクロスにふさわしいデザインができ、実用品に適する染め方である。</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実習態度</li> <li>作品提出</li> <li>自己評価</li> <li>授業観察</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品について評価ができる。</li> </ul>
期末考査 (藍染め全般について)				
1	藍染めのまとめ 陶芸 (大谷焼)	<ul style="list-style-type: none"> <li>藍建ての講義 徳島の伝統工芸 (産業) について</li> <li>大谷焼の歴史について</li> <li>陶芸 (大谷焼) の実習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業観察</li> <li>実習態度</li> <li>デザイン</li> <li>作品提出</li> <li>自己評価</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土の伝統工芸について理解できている。</li> <li>郷土の焼き物について理解し、意欲的に制作に取り組んでいる。</li> </ul>
学年末考査 (藍染めと陶芸について)				

評価の観点及び趣旨

① 関心・意欲・態度

藍染めや陶芸について関心を持ち、積極的に作品制作に取り組もうとする意欲や態度が見られる。

② 思考・判断

藍染め作品を日常生活で生かすことを目指して、技法や表現をについて創意工夫する能力が身に付いている。

③ 技能・表現

藍染めに関する技術を身に付け、美と用を備えた作品作りをする。

④知識・理解

藍染めや陶芸に関する知識を身に付け、郷土の伝統工芸に理解を示し、日常生活に応用していかうとする意欲が見られる。

「伝統工芸」の総合評価における各観点の割合

① 関心・意欲・態度	25%程度	② 思考・判断	20%程度
③ 技能・表現	35%程度	④ 知識・理解	20%程度